

タウンミーティング（壬生川地区） 開催報告

- 日 時 平成 31 年 2 月 2 日（土） 午前 10 時から 11 時 35 分まで
○場 所 壬生川公民館 大会議室

- 参加者 壬生川地区連合自治会長、茨の木・喜多台・喜田台旭・明理川自治会長、
壬生川小学校長、社会福祉協議会壬生川支部長代理、
民生児童委員協議会壬生川地区会長、壬生川地区老人クラブ連合会長、
壬生川地区婦人会長、壬生川小学校 P T A 会長、社会福祉協議会壬生川支部会計、
西条市安全協会壬生川支部長、西条市防災士連絡協議会壬生川地区協議会会長

市長 経営戦略部長、危機管理監、危機管理課長、東予総合支所長

- 傍聴者 6人

- 次第
- 1 開会
 - 2 挨拶（壬生川地区連合自治会長）
 - 3 挨拶（市長）
 - 4 参加者自己紹介
 - 5 市の主要事業について
(1) 主要事業の説明(市長)
(2) 質疑応答
 - 6 地域課題①「西警察署跡地（防災広場）利用」について
(1) 課題等の経過等内容説明(危機管理監、危機管理課長)
(2) 意見交換
 - 7 地域課題②について(シティプロモーション推進課長)
 - 8 まとめ・閉会
(1) まとめ（市長）
(2) 挨拶(壬生川地区連合自治会長)

○会議録

1 挨拶

【壬生川地区連合自治会長】

本日はご多用のところ、自治会、各団体の皆さんにご出席いただきまして、ありがとうございます。
このタウンミーティングは、西条市連合自治会と市の主催で、地域主導で開催するものです。市の現状や今後の市政方針の説明に加え、地域住民と市と一緒に地域の課題について話し合い、私たちの声を生かし、愛着の持てる地域づくりを行うことを目的としております。皆さんのご協力をいただき、会議を円滑に進めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

【市長】

皆さん、おはようございます。市長の玉井でございます。今日はお休みにも関わりませず、このように集まっていただき、誠にありがとうございます。私事になりますが、市長に就任させていただいて2年、振り返りが過ぎたところでございます。私が選挙の時に、こういう事をしたいということ掲げさせていただきまして、それまでマニフェスト選挙ではなかったんですが、そういう政策を実行していく事を掲げさせていただき、チャレンジさせていただきました。それが振り返りを過ぎておりますけれども、職員の支えもありながら、市民の皆さんのご支援をいただきながら、何とか目が出ている、このように思っています。

タウンミーティングは試行錯誤しておりまして、青野市長の時に「市長とのキャッチボール」という形で公民館単位に出向いていた姿を私も承知しているんですが、職員がゾロゾロ行くのもどうか

という事もあり、どのようにすれば皆さんの声を聞く事が出来るかなということで、小松地区で1回試してみました。今日は壬生川地区、そして来月に大保木地区でやらせていただきたいと思います。市民の皆さんが主役だったらどういう形がいいか、今日まず一歩進んでみて、この反省を生かしながら、来年度以降、全25校区で開催をしていこうと思っています。

ご案内のとおり、人口減少が急激に進んでおります。皆さんのまちでもやはり実感はされているんじゃないかと思いますが、少子高齢化を含めて、この事がこれからの地域、私達の子供や孫の時代にどうバトンタッチするかが、非常に大きな課題、そしてその課題が複雑化しています。

西条市をどうしていくんだという事で皆さんのお声をいただきたいと思います。例えば道を直してくれというのもあるんですが、もう少し先を見た時にどうなるんだという所を一緒になって考えていきたい。これまでの西条市は、小負担、高福祉ではなかったか、少ない負担をいただいて、大きなサービスをしていたのが今までの西条市だったと思います。そしたらこの人口減少、高齢化がイタズラをしないかなと、長寿は市にとって嬉しい事なんですけれども、これからは施設も老朽化していきます。そういった時にどのようにしていきましょうか。今のままで進めていくと恐らくは財政の破綻が来て、孫達の時代に繋げていけない。そうすると言い訳がましい事になりますが、中負担、中福祉を目指して行く事が、西条市の為にならないか。しかしながら、ここには市民の皆さんとの信頼関係が絶対必要であり、この前提がなくて行政から一方的に押し付けるのでは、まちが成り立っていかない。従って、丁寧にしっかり説明していこうと職員と意識の共有をしています。受益者は様子が変わると何じゃこりゃという話になると思います。そういう所を丁寧に一つずつ解決していくようなそんな進め方になると思います。

壬生川地区の連合自治会長さんにも貴重な時間を割いていただき、地域自治組織という事で、新たな自治を考えていただいています。今日のメンバーは人生の先輩、若手、先生もいらっしゃいますが、若手がしっかり入っていけるような、そんな組織も考えていかなければならないかなと思っています。これは地域の課題を自ら解決していくという事で、この後少し説明させていただきますが、そういった形で財源も権限も壬生川校区にお渡しする、そして皆さん集まって、この地域のために先ず何をすべきか、こんな事を考える地域自治組織も今作ってっておりますので、是非とも壬生川校区でも検討を進めていただき、ちょっとエネルギーは要りますけれども、私達がしっかりバックアップをしていきたいと思っておりますので、どうか宜しく願いいたします。

今日は、タウンミーティングとしては、今年度初めてになりますので、是非ともこういう事を変えたらいいんじゃないのという事も含めて、地域からのご提言をいただければ、有難いと思っておりますので、どうぞ宜しく願いいたします。

2 市の主要事業について

(1) 説明

【市長】(参照別紙資料)

(2) 質疑応答

【委員】

新川橋のJRの鉄道から東側、海岸までは道路から堤防が1m余り高いので、台風の時でも何とか大丈夫でしたが、鉄道から山側は三段ブロックの上が1m余りの土羽になっており、そこまで水が上がって避難しなければならないような状態になりました。これをコンクリートかブロックにしたら安全ではないですか。街の中に水路が多くあり、危険な所もあります。市に要望しても改良区の同意がいるということだが、鉄板を載せてもいいのなら、すぐ出来るはず。周桑病院周辺も水路が多い、子供が落ち込んだりしたら大変です。新川の樋門がありますが、排水溝が半分潰れていて潮が引いても水位が下がらない。港湾河川課にも修理を頼んでいますが、排水ポンプの油も予算がないので、モーターをこれ以上回さないでくれという話もあります。

【市長】

市民の安全、財産を守るのが行政の使命です。行政は壊れた物を直すのが常でしたが、予防、減災という視点で予算を貼り付けられないかと国交省に常々言っていますが、国も渋いです。言われた事は、皆さんの気持ちでもあると思いますが、会の進め方を戻して貰って、この事は、後で話をさせて

ください。

【司会】

市長から説明のあった市の施策に関する質問をお願いします。次に西署跡地の問題、その後、地域の課題について、お話をいただけたらと思います。

【委員】

クライミングの話の時に丹原高校の定員割れの為ということでしたが、自分の娘も受験を控えています。自分は今治市出身です。今治は高校の選択肢がありましたが、西条市は高校の選択肢が少ないように思っています。スポーツであれ、勉強であれ、はっきり言わせて貰いますと、どこもが中途半端な感じですが、若者が魅力を感じて、西条のここの高校に入りたいという学校を作っていただければ、小学生から、あの高校を目指すんだという子供も出てきて、活気も出てくるのではないのでしょうか。

【市長】

高校の関係では、まずは愛媛県がしっかりと取り組んでいただかなければならないことです。市内の西の方の子は今治市に行き、東の方の子は新居浜市に行き、新居浜工専に行く。更に私学へ行く子もいます。今、松山市の私学の人気が高く、今治西へ行っていたような子が松山へ行き、東予出身の子が今治西に行ったり、部活がないので今治東の中高へ行ったり、西条の子供たちが抜けていくような現状です。

魅力ある高校づくりについては、市内の中学校長と県内5校の校長と話し合いを重ねています。選択の自由があって、思う所へ行けばいいと思いますが、選んで貰える学校づくりを意識していこうという事を高校の先生にお願いしています。丹原を例に出しましたが、東予高校もものづくりで頑張っています。早い段階で就職が決まるようで、素晴らしい学校だと思っています。高校から情報発信するような事も要望していきたいと思っています。

【委員】

市税収の増加は喜ばしいですが、私達は景気が良くなったという実感がありませんね。法人税の税収増ということですが、中小企業の経営が良くなってきているのでしょうか。高齢者の雇用の場に行政としても取り組んでいってはどうでしょうか。地域自治の取組みについて説明があり、モデル地区ということで実施されているようですが、行政として目指しているところは、どこなのでしょう。具体的にどのような事を実施されていますか。

【市長】

市税の増収、法人税の伸びは有難いですね。企業群は好調です。中小の方も悪いという話はないですが、身近なところでは、スーパーが芳しくないようです。ドラッグストアの進出で日用雑貨も引っ張っていくので、小さなスーパーがやられているようです。従って、買い物難民が課題になっています。企業の方も定年の拡大や企業の雇用を目指しながら、企業への働きかけ、お願いしていくという事が一つ。シルバー人材センターで受けてくれる事業もありますが、健康で働ける人であれば、働ける場所を選択できるような事業環境を作っていくと同時に、行政から団体へ積極的に働きかけていきたいと思っています。

地域自治の関係では行政へ市民から様々なリクエストがあります。行政だけでこなしていくことが、現実的に不可能な社会になっています。市民の皆さんが出てきて、例えば、お金、財源・権限を地域に、その組織に任せますよ、それも半端な金額じゃなくてということにしたいと思っています。

地域の課題として、例えば交差点の改修が必要だ、あそこの道路が気になる、あるいはゴミ出しがどうだ、などと色々な話があると思いますが、それを今日の会のような形で、その財源をどのように割り振っていきますかという協議をしていただいて、そこに行政も入っていくことで一緒になって協働のまちづくりを進めていきませんかということです。市内25校区でそういったことができれば、これまでの紋切り型ではなく、市内に散撒くのではなく、それぞれの校区がそれぞれの課題を解決していくことでまちへの愛着も増えていくのではないかと思います。自治会とかで役になっただけならいっばなしになり、非常にストレスを感じるというところも皆で補っていくとか、若い方も参加し

てもらおう、女性も参加してもらおう、そんな組織があってもいいんじゃないかと思っています。地域に財源と権限をお渡しして、行政、公民館を中心に、人も張り付けていくという形で回していくことになっていく訳です。

2 地域課題①「西警察署跡地（防災広場）利用」について

(1) 説明

【危機管理官、危機管理課長】（参照別紙資料）

(2) 質疑応答

【委員】

北星公園でグランドゴルフをしている人に聞いたら、あっち（西警察署跡地の防災広場）へ行かなくてもいいという意見でした。

【委員】

東予祭り会、壬生川・多賀地区の代表をしており、壬生川小のグランドを借りていますが、年一回のお祭りの場所として、いいんじゃないかと思っています。活性化のために、太鼓、だんじりが集まる場所として、出来るならお借りしたい。

【委員】

どのような公園にするのでしょうか。グランド、駐車場とかトイレとか、その他の施設、どうしていくのですか。

【危機管理課長】

今日の会では皆さんに意見を出してもらって、また後日、会長さんを通じてお集まりいただくなかで、グランドゴルフをされるのなら、真砂土を入れてフラットな形状にしなければならないですし、トイレ、手洗いはどのように利用するかによって変わってくると思います。ただ防災広場で土を敷いていけばいいのか、もう1回意見を出して、固めてもらって市としてもどの程度できるのか決めていきたいと思っています。これまでも色々と意見を出して貰っているが、なお出して下さい。

【委員】

地元も防災広場の設置は楽しみにしています。跡地はハザードマップの浸水の堺に当たる所で、そういう意味でお願いした経過があります。当初は少し盛土をしていただいて、壬生川は殆ど浸水区域になるので、避難するとなると、周桑病院の方になるがそういう訳にもいかない。一時避難所としては、適切かなと思います。少し盛土をしていただくと非常に有効かなと思います。色々な利用をするので、兼ね合いをどうするかが課題と思いますが、どのようにお考えでしょうか。盛土をする箇所があってもいいと思いますが。

【司会】

これからどんどん意見を出して、地元を持ち帰って、総合的に意見を聞いていただいて、担当課、公民館へ要望を上げていただいて、進めていきたいと思っています。

地域課題②について

【シティプロモーション推進課長】（参照別紙資料）

3 まとめ・閉会

【市長】

今日がある意味1回目ということで、手探りの状態でこのような会になって、言い足りない分もあると思います。また玉井市長、出て来いよという事があったら出てきます。タウンミーティングを集中的にやっつていこうという思いもありまして、予算要望の前位で皆さんとお話ができ、次の予算に反映できるもの、そういうタイミングで集中的にできないかと思っています。時間帯は連合自治会の皆さんとご相談しながら、出やすい時間帯で、皆さんのご意見が政策になって実施していく事が喜ば

しいことなので、ご意見を取りまとめながら、まちづくりを進めていきたい。来年度4月から取り組んでいくことをお約束させていただき、消化不良のところは課題として活かしていきたいと思えます。

(閉会)

<タウンミーティングの様子>

